

# エネルギーエレクトロニクスセミナー in SOJO

～グリーン×インフラ×モビリティの最前線～



日時：11月30日(木)～12月1日(金)  
場所：崇城大学 メインキャンパス 本館 6階  
(熊本市西区池田4-22-1)

講演会参加費：無料  
情報交換会参加費：5000円 (RIST会員3000円)  
申し込み先：<https://onl.la/KrCM3RV>  
申し込み締め切り：11月24日(金)

主催：崇城大学、くまもと技術革新・融合研究会 (RIST)  
後援：JEITA (電子情報技術産業協会)、日本パワーエレクトロニクス協会、EMoBIA

## 1日目 14:20～17:20(崇城大学 本館 6階 学術講演会室)

- 14:20～14:30 開会挨拶  
14:30～14:40 『エネルギーエレクトロニクスセミナー in SOJOの概要』  
崇城大学 情報学部 情報学科 准教授 西嶋 仁浩  
14:40～15:10 『グリーンデータセンターのための直流給電システム』  
長崎総合科学大学 学長 黒川不二雄 氏  
15:10～15:40 『オンデマンドシェアモビリティの導入可能性とその価値評価』  
熊本学園大学 経済学部 教授 溝上 章志 氏  
15:40～15:50 休憩  
15:50～16:20 『脱炭素社会に向けたリコーの挑戦』  
株リコー 環境・エネルギー事業センター 事業推進室 脱炭素事業開発グループ  
グループリーダー 齊藤 達郎 氏  
16:20～16:50 『太陽電池搭載EVの実証実験の取り組み』  
日産自動車(株) 総合研究所 EVシステム研究所 主任研究員 谷本 勉 氏  
16:50～17:20 『熊本からはじまる電動バスが未来を拓く(2013年から始まる熊本大学の  
電動バス社会実装研究)』  
熊本大学 大学院先端科学研究部 シニア准教授 松田 俊郎 氏  
17:20～17:25 閉会挨拶  
17:30～19:00 情報交換会(崇城大学 本館 6階 レセプション室)

申し込み先



## 2日目 9:30～14:20(崇城大学 本館 6階 学術講演会室)

- 9:20～10:10 『スイッチング電源研究のおもしろさ』  
九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 庄山 正仁 氏  
10:10～11:00 『磁気結合ワイヤレス給電の多様な可能性と興味深い数々の性質』  
元パナソニック 技術士 安倍 秀明 氏  
11:00～11:10 休憩  
11:10～12:00 『LED照明における技術動向とパナソニックの先行開発事例』  
パナソニック(株) エレクトリックワークス社 主幹技師 池田 敏 氏  
12:00～13:00 休憩  
13:00～13:50 『GaNを最大限に活かすNano Pulse Control技術とロームのGaN戦略』  
ローム(株) LSI事業本部 パワーステージ商品開発部 電源商品設計課  
アプリケーション品質開発G グループリーダー 沖 宏一 氏  
13:50～14:40 『シミュレータScideamによるスイッチング電源の損失解析フロントローディング』  
スマートエナジー研究所(崇城大学名誉教授) 技術顧問 中原正俊 氏

# 展示ブース

## 世界最軽量のUSB-PD充電器の展示！（E-Poer Solutionsの協力）



崇城大学西嶋准教授の共同特許技術が採用された「世界最小最軽量の充電器」を展示します。重さがスマートフォンの約半分（75g）、サイズは、大さじ3杯分（46cc）を実現しています。これ1台で、ノートパソコンやゲーム機、スマートフォンなど様々なモバイル機器を充電できます。ノートパソコンを毎日持ち歩く大学生やビジネスマンには便利なアイテムになりそうです。

## 電気自動車の車載電源（株）リョーサンの協力）



テスラモデル3や日産アリアの車載電源を展示します。テスラモデル3については、スイッチング電源シミュレータ Scideam（スマートエネルギー研究所）によって明らかになった、各 부품の電力損失分布なども紹介します。

\* Scideamの解析エンジンは、中原正俊氏（崇城大学名誉教授）によって開発されました。

## ワイヤレス充電体験コーナー（株）B&PLUSの協力）



電池がないのに光る！ワイヤレス充電を体験してみませんか？『ワイヤレス給電マット』は送電部がマットになっていて、受電部を組み込んだ食器などを置くだけで点灯させることができます。

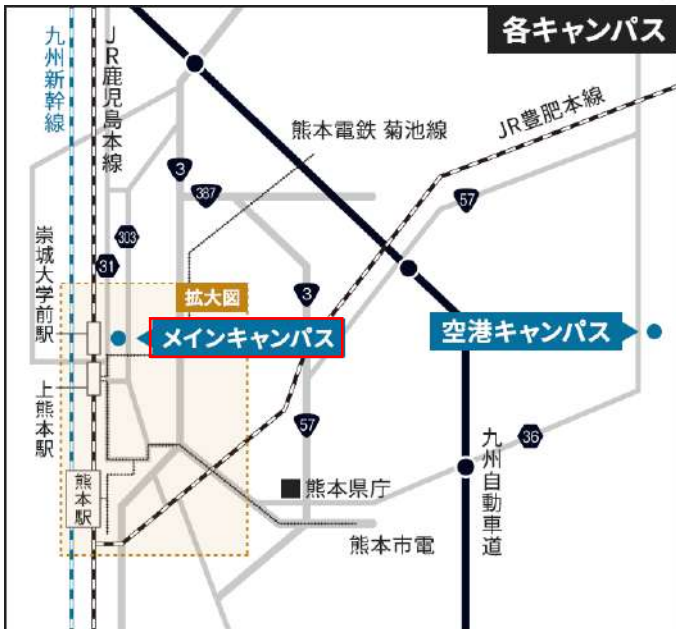
ワイヤレス充電は、スマートフォンの充電だけでなく、電気自動車やレンタサイクル、ドローンの充電にも役立ちます。

## バッテリー交換式モビリティ（株）リコー、T-PLAN(株)の協力）

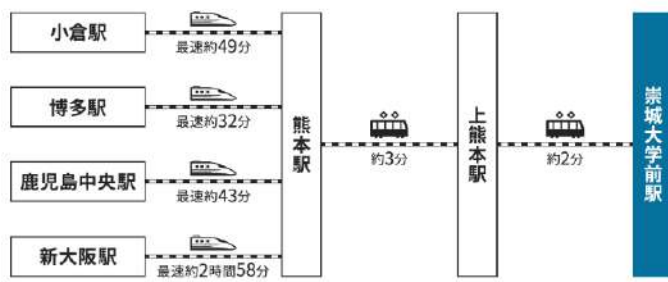


数人乗りの小型電気自動車を、観光地や、駅→スーパー→住宅地の生活インフラとして使えば、地域の利便性は大幅に向上します。太陽電池搭載のバッテリー交換ステーションがあれば、電気自動車の連続運用が可能になります。

# 崇城大学までのアクセス



## 九州新幹線・JR鹿兒島本線利用



熊本駅ー崇城大学前 片道210円  
 上熊本駅ー崇城大学前 片道160円

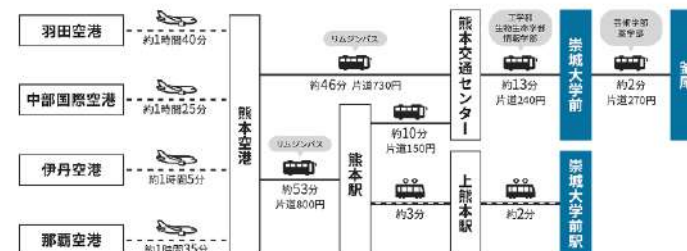
## 車利用



## バス利用



## 飛行機利用



※熊本校町バスターミナル 20番のりばより乗車。バスで芸術学部・薬学部へ向かう方は「釜尾」下車が便利です

熊本駅ー崇城大学前 片道210円  
 上熊本駅ー崇城大学前 片道160円

※熊本校町バスターミナル 20番のりばより乗車。バスで芸術学部・薬学部へ向かう方は「釜尾」下車が便利です